



明日に架ける橋

進路だより第7号
2020/12/18
兵庫県立明石高等学校
進路指導部発行

□「大学入学共通テスト」&「一般選抜」にむけて□

1 「模試」・「試行テスト」・「対策問題集」を解き、分析する

推薦型選抜もピークを終え、いよいよこれから「大学入学共通テスト」や「一般選抜」を迎えることとなります。

「共通テスト」においては今年が初年度となりますので、みなさん不安もあると思います。しかし、対策というと、過去問がないので、今年度の「模試」・「試行テスト」・「対策問題集」を取り組むしか方法がありません。これらを振り返り、またはこれから取り組んで、「どのような問われ方をするのか」「どのようにして解かねばならないのか」を分析しましょう。また、そこでどれだけの点数が取れたのかも大切なことですが、「自分がどのように考えて正解にたどり着いたのか」または「何故間違えたのか」など、思考の段階にまで踏み込んだ見直しをしましょう。そしてここからは勉強の「質」を上げていくようにしましょう。

「一般選抜」については、過去問への取り組みが非常に重要と言えます。なぜなら、学校によって傾向が違うからです。ですので、自分が受験しようと考えている第1志望校は当然のことながら、その他併願を考えている大学などについても、過去問を解いて対策をたてましょう。

2 「一般選抜」の出願に向けて

現在、「一般選抜」の出願に向けて担任の先生との面談が行われていると思います。「どこを受験するのか」「いくつ受験するのか」「どの日程を受験するのか」など考えなければならぬことは、多くあります。担任の先生や保護者の方ともよく相談して、無理のない受験計画をたてましょう。また、みなさん1人1人が持っている様々な条件があると思います。この条件によって、苦渋の決断をしなければならないこともあると思いますが、なんとか納得のいく受験をしてもらえたらと思います。相談がある場合は、担任の先生や進路指導部へ来て下さい。

さて、受験校を選ぶ際ですが、模試の判定値というものがよく使われる材料です。おそらくみなさんもその判定を参考にして「押さえ」や「チャレンジ校」を選択していることと思います。それ以外に、みなさん過去問を解いてから判断するという方法をとっているでしょうか？例えば、A大学とB大学があったとして、模試判定はA大学の方が良かったとします。しかし、過去問を解いてみると、A大学の問題の正答率は低く、一方でB大学の正答率が高く合格最低点を超える点数が取れる場合、B大学を受験する方が合格する確率は高いと言えます。この考え方を模試の判定にプラスして受験校を考えると、よりよく受験をすすめていけるのではないかと思います。そのためにも、自分で動いて受験候補に挙げている大学の過去問を1度は解いて判断材料にしてください。

□受験結果の報告について□

1 担任の先生への報告について

受験結果の報告は必ず行ってください。また、出願の際に学校へ個人の名前と合否を伝えるかどうかを尋ねられるかと思いますが、よほどの理由が無い限りは学校へ結果を知らせる方を選んでください。これは毎年のことですが、2月以降みなさんが自由登校や卒業後の学校へ足を運ばない期間に、みなさんの進路状況の把握がしづらくなります。進路結果というのは、みなさん自身は当然ですが、学校にとっても非常に大切な情報になりますので、よろしくお願ひします。

【報告については詳しく】

- (例) 合格が出た場合 →
- a、合格した大学に進学する
 - b、合格したが、まだ受験を続ける
 - c、A大学とB大学に合格して、A大学に進学する

以上のように、合格一つをとっても様々なパターンがありますので、きちんと担任の先生に伝えるようにしてください。

2 お世話になった方への報告について

先ほど書いた報告以外に、お世話になっている方への報告についても忘れないようにしましょう。これは、学年の先生からも言われていることかと思ひます。

これは、先ほどの担任の先生への報告とは意味合いが異なります。仮にその報告をしなくても、誰かが困るということでもありません。しかし、これから社会に出て行くみなさんにとって非常に大切なことです。人と人との「つながり」を大切にできる自分であるかということに関わってきます。みなさんを気遣い、心配している人が周囲にいるはずですが、結果によっては、報告しづらい場合もあるかと思ひますが、きちんと伝えるようにしましょう。

□入試要項の提供について□

いくつかの大学から、「入試要項、願書」が届いています。また、例年明石高校の生徒がよく受験をする大学の願書を取り寄せて廊下に置いています。さらに、これから届くものもいくつかあると思ひます。廊下に並べてある案内や要項などは自由に持ち帰ってよいものですので、必要なものがあれば持ち帰ってください。要項以外に、大学が独自で発行している過去問集もいくつか置いてあります。こちらについては、解答に配点がついているなど、みなさんの役に立つものだと思います。ぜひ、上手く活用して、来る一般選抜にむけて準備をして欲しいと思ひます。ただし、数に限りがありますので、早めに動くことをオススメします。

また、専門学校などの書類については進路指導室内に置いてあります。こちらについては、みなさんに提供できるものとそうでないものがありますので、一度声をかけてください。